

令和6年度 シラバス

教科名 国語

愛媛県立宇和高等学校

現代の国語

愛媛県立宇和高等学校

教科	国語	単位数	2		対象	生物工学科1年 普通科1年	
使用教科書	新編現代の国語（東京書籍）		副教材等	常用漢字オールクリア（五訂版）		履修	必履修・選択
授業の概要			到達目標		履修の条件・進路		
様々な言語活動を通じて、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			様々な文章や言語活動を通じて、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。また、他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにするとともに、言葉が持つ価値への認識を深める。		国語の科目の基礎となるもので、必履修である。 すべての教科の基礎となる国語の力を養う教科である。		
学習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ	
	一 学 期	自己を見つける	こそめスープ	筆者独自のものの感じ方や考え方を読み取る 筆者の体験を読み、自分に当てはめて考える			
		他者に出会う	水の東西	意見の根拠を的確に理解し筆者の主張をつかむ 日本文化の特質について理解を深める			
		言葉と生活 1	わかりやすい説明をしよ う	目的や相手に合った分かりやすい説明をする			
	二 学 期	視野を広げる	無彩の色	具体例の役割を押さえ、筆者の価値観と主張をつかむ			
		社会と関わる	鍋洗いの日々	筆者の体験談から仕事に対する思いを読み取る			
		言葉と生活 2	新聞記事を読んで意見文 を書こう	記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意 見をまとめる			
	三 学 期	世界とつながる	美しさの発見	文章の展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する			
		未来に目を向ける	真の自立とは	自分の考えを持ち、視野を広げる			
学習 方法	【授業】 本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】 单元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】 語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。						
評 価 の 観 点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	表現と理解に役立つ音声、文法、語句、語彙、漢字等を理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりすることができる。		国語や言語文化に対する関心を深め、進んで表現したり、粘り強く理解しようとしている。		
※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1 学期	2 学期	3 学期	年度末		
		(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均		
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)							

言語文化

愛媛県立宇和高等学校

教 科	国 語	単位数	2	対象	生物工学科1年 普通科1年	
使用教科書	新編言語文化（東京書籍）	副教材等	常用漢字オールクリア（五訂版）	履修	必履修・選択	
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路		
自分の考えをまとめたり深めたりすることを通じて、筋道を立てて適切に表現する力（書く力や話す力）を身に付ける。また、現代文や古文、漢文など様々な文章に触れ、親しみながら語句の意味や文語、訓読のきまりを学ぶ。		様々な文章に触れることで、読む能力を高め、現代の言語文化を豊かに享受していくための資質を養う。古典作品を読むために必要となる知識や技能を伸ばし、ものの見方や考え方、感じ方を深めて、人生を豊かにしようとする態度を養う。		国語の科目の基礎となるもので、必履修である。 すべての教科の基礎となる国語の力を養う教科である。		
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容		メ モ	
	一 学 期	随筆 古文入門 漢文入門 古文入門 漢文入門 言語活動	さくらさくらさくら 兄のそら寝 訓読の基本 絵仏師良秀 五十歩百歩 言語活動		・桜に対する日本人独特の感性を学ぶ。 ・文語のきまりを学び、古文に親しむ。 ・漢文のきまりを学び、訓読に慣れる。 ・用言の活用を学ぶ。 ・故事成語の意味と由来を学ぶ。 ・言語活動（話し合い、文章作成、発表など）を行う。	
	二 学 期	小説1 随筆 漢詩 詩歌 物語 論語 言語活動	雨漏りの音 徒然草 絶句と律詩 冬が来た 他 伊勢物語 論語 八章 言語活動		・登場人物の心情と、その変化を読み取る。 ・随筆に表れた作者の考えを捉える。 ・漢詩を朗読し、優れた表現を読み味わう。 ・詩歌に親しみ、深く読み味わう力を養う。 ・文章の特色に注目しながら物語を読み味わう。 ・思想家たちのものの見方や考え方を理解する。 ・言語活動（話し合い、文章作成、発表など）を行う。	
	三 学 期	小説2 物語 史話 言語活動	羅生門 平家物語 史話 三編 言語活動		・小説を深く味わい、主題を読み取る。 ・登場人物の心の動きを読み取る。 ・物語の内容を理解し、史話の面白さを味わう。 ・言語活動（話し合い、文章作成、発表など）を行う。	
学習方法	<p>【授業】本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。</p> <p>【復習】単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。</p> <p>【予習】現代文では語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。古典では語句の読みと意味を調べておく。</p>					
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。		論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	
評価方法	※上記3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1 学期	2 学期	3 学期	年度末
			(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3 学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)						

古典探究

愛媛県立宇和高等学校

教科	国語	単位数	2	対象	普通科2年	
使用教科書	新編古典探究 (東京書籍)	副教材等	要点プラス体系古典文法 (数研出版) 必携 新明説漢文 (尚文出版)	履修	必履修・ <input type="checkbox"/> 選択	
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路		
<p>古典を主体的に読み深めることを通して伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解し、自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探究する資質・能力を育成する。</p>		<p>・我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・古典を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。</p>		<p>・3年次にも継続して履修する。 ・社会でよりよく生きるためには、我が国の文化や伝統に裏付けられた教養としての古典の価値を再認識し、自己の在り方生き方を見つめ直すきっかけとすることが重要である。</p>		
学習の年間計画	月	単元名	学習内容		メモ	
	一学期	古文編1 説話に親しむ 漢文編1 故事と小話 古文編2 随筆を読む 漢文編2 唐詩と文	十訓抄 小話一四編 徒然草 『徒然草』と『玉勝間』を読み比べる 雑説	<ul style="list-style-type: none"> 和歌を含んだ説話を読み取り、展開のおもしろさを捉える。 故事成語について確認する。 構成に注意して、作者の述べるものの見方や感じ方について理解する。 随筆を読み比べ、作者の考え方の違いについて考察する。 作者が比喻によって何を主張しようとしたのかを考える。 		
		二学期	古文編3 作り物語を読む 漢文編4 中国の知恵 古文編5 日記を読む 漢文編3 史記を読む	竹取物語 寓話 土佐日記 項羽と劉邦	<ul style="list-style-type: none"> 内容を読み取り、そこに表れた人々の思いをとらえる。 寓話や故事成語の意味について理解を深める。 仮名文による日記の文学史的位置について理解する。 登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、感じたことを話し合う。 	
			三学期	古文編4 和歌の世界 漢文編5 三国志の世界 古文編6 軍記物語を味わう	小倉百人一首の世界 十八史略 平家物語	<ul style="list-style-type: none"> 和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して、言語文化について自分の考えを深める。 歴史上の人物を描いた作品を通し、登場人物の行動や心情を捉える。 軍記物語の表現の特色について理解を深める。
学習方法	<p>【授業】本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。</p>					
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。		
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。	1学期	2学期	3学期	年度末	
		(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。				1・2・3学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)						

文学国語

愛媛県立宇和高等学校

教 科	国語	単位数	2・3		対象	生物工学科2年 普通科2年	
使用教科書	標準文学国語（第一学習社）	副教材等	常用漢字オールクリア（五訂版）			履修	必履修・ <input type="checkbox"/> 選択
授業の概要		到達目標			履修の条件・進路		
豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養を持ち、思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、文学作品などの文学的文章を通した様々な学習する。		<ul style="list-style-type: none"> ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力や、創造的に考える力を伸ばす。 ・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 			<ul style="list-style-type: none"> ・3年次にも継続して履修する。 ・豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養を持ち、思考力、判断力、表現力等を身に付けるためには、文学作品などの文学的文章を通した様々な学習が必要不可欠である。 		
学 習 の 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容			メ モ	
	一 学 期	現代の小説（一）	調律師のるみ子さん	<ul style="list-style-type: none"> ・「るみ子さん」の気持ちの変化する過程を、彼女の身の上で起こった出来事を通して読み取る。 ・詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について、作者の捉え方を理解する。 ・登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深淺について考察する。 			
		現代の詩	生命は				
		現代の小説（二）	ナイン				
二 学 期	随想〈芸術〉	花のいざない	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか理解する。 ・詩中の表現が示しているものを理解し、「僕」と「恋人」が置かれていた状況を読み取る。 ・物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 				
	現代の詩	そこにひとつの席が					
	近代の小説（一）	こころ					
三 学 期	随想〈芸術〉	真珠の耳飾りの少女 フェルメールの技を読む	<ul style="list-style-type: none"> ・フェルメールの絵画を紹介する文章を読んで、読み手の関心を引きつけるための工夫について考える。 ・対談形式の文章から、話者のフェルメールに対する向き合い方の特徴を読み取り、『真珠の耳飾りの少女』との違いを考える。 ・ベトナムの平和を願う反戦詩として書かれた背景を踏まえ、作品に託された思いを読み取る。 				
	戦争と文学	死んだ男の残したものは					
学習方法	<p>【授業】本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。</p> <p>【復習】単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。</p> <p>【予習】語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。</p>						
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。		深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。		
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1学期	2学期	3学期	年度末	
			(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)							

論理国語

愛媛県立宇和高等学校

教科	国語	単位数	2	対象	普通科2年
使用教科書	標準論理国語 (第一学習社)	副教材等	常用漢字オールクリア (五訂版)	履修	必履修・ <input type="checkbox"/> 選択
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路	
近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読み、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。		<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の考えや思いを広げたり深めたりする。 ・言葉が持つ価値への認識を深める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・3年次も継続して履修する。 ・グローバル化や情報化が進む社会において、論理的に書いたり批判的に読んだりする力は、どの進路においても欠かせない。 	
学 習 の 二 年 間 計 画	月	単 元 名	学 習 内 容		メ モ
	一 学 期	新しい発見 言葉と文化	進化が導き出した答え 新しい地球観 数え方で磨く日本語 名所絵はがきの東西	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の進化における多様性について理解し、それを人間の生き方に照らして考えを深める。 ・オーサグラフ地図の特徴を捉え、筆者が述べる「新しい世界観」との関連について考察する。 ・具体例をもとに日本語のものの数え方の性質や文化的特徴を理解し、日本語感覚を磨く。 ・絵はがきを例に筆者が東西の自然観をどのように捉えているか把握し、自分の考えを深める。 	
	二 学 期	生活の中の表現 (読み比べ) 人間と文化	情けは人の…… 犬も歩けば棒に当たる バラと通貨はどう違う？ ヒトはなぜヒトになったか	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中に示された言葉の正しい意味を知るとともに、言葉に対する筆者の姿勢を読み取る。 ・一つのことわざについて複数の解釈を提示する文章を読んで、日本語の多様性について理解を深める。 ・本文中で通貨と対比されているものの性質を把握し、筆者が述べる通貨の本質を理解する。 ・因果関係を解き明かしていく論理構成の手順を把握し、ヒトの進化の過程を理解する。 	
	三 学 期	自己と社会 実用文	共同性の幻想 鏡としての他者 法に関わる文章を読み比べる ボランティアへの参加を伝えるメールの文章を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・「同調圧力」が働く社会的背景を理解し、現代における人間関係のあり方について考察する。 ・文章構造をもとに筆者の主張を読み取り、他者が自己に与える影響を考える。 ・二種類の実用的な文章を読み比べて必要な情報を読み取り、両者を関連づけて解釈する方法を学ぶ。 ・実用文には書き方のルールがあり、場面や目的に応じて書き方に工夫が必要な点を理解する。 	
学習方法	<p>【授業】 本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。</p> <p>【復習】 単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。</p> <p>【予習】 語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。</p>				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、言葉を効果的に使おうとしている。	
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。	1 学期	2 学期	3 学期	年度末
		(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)					

国語表現

愛媛県立宇和高等学校

教科	国語	単位数	3		対象	生物工学科3年(選択)	
使用教科書	国語表現(大修館書店)		副教材等	基礎練習ノート		履修	必履修・ 選択
授業の概要		到達目標			履修の条件・進路		
話す・聞く・書くといった表現活動に重点を置いた授業です。自分の考えをまとめたり、深めたりしながら、目的や場面、相手に応じた表現力を身に付けましょう。		国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。			進学、就職ともに小論文が試験に課せられる場合、有効な科目です。また、自己表現力を高めたいと考えている人にも向いています。		
学習 の 年 間 計 画	月	単元名	学習内容			メモ	
	一 学 期	第1部 表現力を培う	言葉と表記 整った文を書く	表記、係り受け、文末表現の統一、適切な敬語 わかりやすい文にする方法			
		1 言葉と出会う	相手に応じた言葉遣い わかりやすい文を書く	接続表現の種類と働き 図や写真を見て文章を書く			
		2 伝える、伝え合う	文のつなぎ方 自己紹介ゲーム 絵や写真を見て書く マイニュース記事を書く	小論文の基本的な書き方 他者を紹介しよう 配置を説明する 「マイニュース」を見つけて、情報を整理する			
	二 学 期	3 小論文・レポート入門	小論文とは何か 反論を想定して書く 資料を読み取って書く レポートを書く 論文を書くために	原稿を書き発表する 反論を想定して書く 資料に対する自分の意見 レポートの基本的な書き方 論文執筆の進め方			
		4 自己PRと面接	自分を見つめて 効果的な自己PR 将来の自分を考えよう 志望動機をまとめよう 面接にチャレンジ	自分の長所を見つける 効果的な自己PR 「将来の自分」について文章にまとめる 説得力のある志望動機 適切な言葉遣いや態度			
5 メディアを駆使する		通信文を書き分ける 電話を使いこなす ネット社会とコミュニケーション メディアと情報 言葉のストレッチ体操 ショートスピーチをしよう 相手や場面に応じた会話	通信文の形式 適切な言葉遣いや応対 ネットを用いたコミュニケーションの特長と留意点 情報の集め方、調べ方 コミュニケーションの楽しさ わかりやすいショートスピーチ 適切な言葉遣い				
三 学 期	6 会議・議論・発表	議論して結論を出す プレゼンテーションの工夫	建設的な議論 効果的なプレゼンテーション				
学習 方法	<p>【授業】国語表現力の向上を図るためにスピーチ、発表、話し合い、作文などの表現活動に取り組む。</p> <p>【復習】表現と理解に役立てるための演習プリントを解く。</p> <p>【予習】演習プリントを解く。</p>						
評価 の 観 点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解している。		具体的な事実やできごとを明確に示しながら、意見を出し合っている。適切な表現による文章を書き、自分の考えを深めている。		自らの経験を振り返り、必要に応じて人から聞いたり調べたりして、積極的に情報を集めようとする。		
評価 方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。		1学期	2学期	3学期	年度末	
			(評価方法) 定期考査、小テスト、基礎学習ノート、授業中の活動等による目標の達成度や、提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均	
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)							

古典探究

愛媛県立宇和高等学校

教科	国語	単位数	2・3	対象	普通科3年
使用教科書	新編古典探究（東京書籍）	副教材等	これからの古典文法（尚文出版） 必携 新明説漢文（尚文出版）	履修	必履修・ <input type="checkbox"/> 選択
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路	
<p>古典を主体的に読み深めることを通して伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解し、自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探究する資質・能力を育成する。</p>		<p>・我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・古典を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。</p>		<p>・2年次から継続して履修する。 ・社会でよりよく生きるためには、我が国の文化や伝統に裏付けられた教養としての古典の価値を再認識し、自己の在り方生き方を見つめ直すきっかけとすることが重要である。</p>	
学 習 の 二 年 間 計	月	単 元 名	学 習 内 容		メ モ
	— 学 期	古文編1 随筆を味わう	枕草子	・「をかし」の語に込められている作者の心情を読み取る。	
		漢文編1 小話を読む	小話一三編	・話の展開や内容のおもしろさを味わい、さまざまな人間の考え方を比較する。	
		古文編2 歌物語を楽しむ	伊勢物語 大和物語	・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	
		漢文編2 古詩を味わう	古体詩一五首	・内容や表現の豊かさを理解し、詩にうたわれた情景や心情を読み味わう。	
	— 学 期	古文編3 歴史物語を読む	大鏡	・作品の特色に注意しながら、歴史物語の内容を的確に読み取る。	
		漢文編3 史記を味わう	廉頗と藺相如	・登場人物の人柄や言動を捉え、本文と同形の故事成語について現代の生活と絡めた随想を書く。	
		古文編5 作り物語を味わう	源氏物語	・他の作品や絵画との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取る。	
		漢文編4 中国の思想	儒家と道家	・古代中国のさまざまな思想を比較し、人間のあり方について考える。	
	— 三 学 期	古文編4 歌話・歌論を読む	袋草紙 無名抄	・歌話・歌論に表れているものの見方、感じ方、考え方を理解する。	
		古文編6 俳諧に親しむ	去来抄	・芭蕉と去来、俳論と発句の関係を理解する。	
		漢文編5 日本の漢詩文	詩一二首	・表現豊かな詩情を味わい、日本文化と中国文化の関係について考える。	
学習方法	<p>【授業】本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。</p>				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。	
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。	1学期	2学期	3学期	年度末
		(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)					

文学国語

愛媛県立宇和高等学校

教科	国語	単位数	2	対象	生物工学科3年 普通科3年
使用教科書	標準文学国語(第一学習社)	副教材等		履修	必履修・ 選択
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路	
豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養を持ち、思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、文学作品などの文学的文章を通した様々な学習する。		・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力や、創造的に考える力を伸ばす。 ・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		・2年次から継続して履修する。 ・豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養を持ち、思考力、判断力、表現力等を身に付けるためには、文学作品などの文学的文章を通した様々な学習が必要不可欠である。	
学習の年間計画	月	単元名	学習内容		メモ
	一学期	現代の小説(三) 富岳百景 近代の小説(二) 山月記 清兵衛と瓢箪	・短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 ・さまざまな文芸的課題や引用が散りばめられた作品を読んで、小説の奥深さとおもしろさを味わう。 ・表現の特徴が作品に及ぼす効果を考え、人が虎になるという怪異の意味を踏まえて作品の主題を考える。 ・清兵衛と大人たちの瓢箪に対する考えの違いを通して、価値判断や評価について考えを深める。		
	二学期	近代の詩 こころ 汚れつちまつた悲しみに…… 永訣の朝 現代の小説(四) 卒業 ひよこの眼	・文学的文章の種類や特徴について理解を深める。 ・文学的文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 ・我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。 ・「私」が学生が目が見つめていたものに気づくまでの心情の変化を把握する。		
	三学期	戦争と文学(二) 血であがなったもの 夏の花 創作をする	・出来事の時序や人物の発言をもとに心理を読み取り、戦争の体験をどのように意味づけるべきかを考える。 ・「私」の移動とともに場面が変わる文章展開を把握し、各場面における「私」の心情を読み取る。 ・文体の特徴や表現の技法について理解し、活用する方法を学ぶ。 ・言葉には、想像や心情を豊かにするはたらきがあることを理解する。		
学習方法	【授業】 本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】 単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】 語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。		言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。	
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。	1学期	2学期	3学期	年度末
		(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均
到達目標に対する自己評価(A・B・Cの3段階)					

論理国語

愛媛県立宇和高等学校

教科	国語	単位数	2	対象	普通科3年
使用教科書	標準論理国語（第一学習社）	副教材等		履修	必履修・選択
授業の概要		到達目標		履修の条件・進路	
近代以降の論理的な文章及び現代の社会生活に必要とされる実用的な文章を読み、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を身に付ける。		<ul style="list-style-type: none"> ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の考えや思いを広げたり深めたりする。 ・言葉が持つ価値への認識を深める。 		<ul style="list-style-type: none"> ・2年次から継続して履修する。 ・グローバル化や情報化が進む社会において、論理的に書いたり批判的に読んだりする力は、どの進路においても欠かせない。 	
学習の年間計画	月	単元名	学習内容		メモ
	一学期	新しい視点 人間と社会	新しい博物学を 哲学的思考とは何か SNSと意見の分極化 コミュニケーションの文化	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落の役割や関係を把握し、筆者の提案する「新しい博物学」の意義と可能性を考察する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・具体例や言い換えに留意しながら内容を正確に把握し、「哲学的思考」の方法を理解する。 ・フェイクニュースとSNSの使用意識について述べた文章の内容を基に、自分の考えを発表する。 ・自分の考えが的確に伝わる文章になるよう工夫する。 	
	二学期	生活と自然（読み比べ） 生への思索	クマを変えてしまう人間 カブトムシから考える里山と物質循環 経験の教えについて 僕らの時代のメディア・リテラシー	<ul style="list-style-type: none"> ・猟師である筆者の体験をもとに語られる、人間の活動と自然との関係について理解を深める。 ・人間と自然との関わりの変化を、自然の社会化という視点から考察した筆者の論理を読み解く。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながらい要旨を把握する。 ・筆者の主張の要点を理解し、市場原理の主体とメディアとの関係について考えを深める。 	
	三学期	現代と社会 論理研究—推論 レポートを書く 小論文を書く	支え合うことの意味 科学技術は暴走しているのか 推論とは何か 帰納法のワナ——一般化に対する疑問	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な表現の意味を把握しながら、「支え合うことの意味」について考えを深める。 ・AIやロボット技術の現状や日本における捉え方をふまえ、科学技術との向き合い方を考える。 ・推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。 ・資料をもとに考えを整理する方法を理解する。 ・論理的な文章を書くための文章構成のしかたを理解する。 	
学習方法	【授業】 本文を読み、内容を読み取ったり、自分の考えを表現したりする。 【復習】 単元ごとの整理プリントを解答や、小テストの勉強をする。 【予習】 語句の意味を調べ、学習問題を解いておく。発表の準備を行う。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとするとともに、言葉を効果的に使おうとしている。		
評価方法	※上記の3つの観点を基に、学期ごとに評価する。	1学期	2学期	3学期	年度末
		(評価方法) 定期考査、課題テスト、小テスト、学習ノートなどによる到達目標の達成度や提出物、授業態度などを参考に、上記の3つの観点から総合的に評価する。			1・2・3学期の平均
到達目標に対する自己評価 (A・B・Cの3段階)					